

ねこどんとぬずみどん

水谷章三●文 中沢正人●絵

ワンダー民話館

十二しのおはなし





ワンダー民話館

ねごとんと ねずみどん

十二しのおはなし

二〇〇五年十一月二十日 初版第一刷発行

文 水谷章三 絵 中沢正人

発行人 小林公成

発行 株式会社世界文化社

東京都千代田区九段北四十二二九

〒一〇二八二八七

電話〇三(三三六二)五一一五(販売本部)

〇三(三三六二)五二二一(編集部)

印刷 共同印刷株式会社

製本 株式会社大観社

禁無断転載・複写

©Shozo Mizutani・Masato Nakazawa

2005 Printed in Japan

ISBN4-418-05847-8

紙で手を切ることがあります。

絵本の扱いには十分ご注意ください。

ねこどんとぬずみどん

十二しのおはなし

水谷章三●文 中沢正人●絵

蘇工業学院図書館
藏书章

ワンダー民話館



定価： 本体476円 + 税



世界文化社



文●水谷章三 絵●中沢正人



む

かし むかしの おおむかし。せかいじゅうの どうぶつたちの ところへ、
かみさまからの おつかいが きました。

「よいか、おまえたち。もう すぐ しょうがつであるが、がんじつの あき はやく、

わしの ところへ おめでどうを いいに くるのだ。

いちばんの ものから 12ばんめまでの ものは、1ねんずつ じゅんばんに
どうぶつの かしらに する。がんじつの あさだ。わすれるで ないぞ」





ど

うぶつたちは みんな おおよろこびに よろこんで、
「よし、おれが いちばんに かみさまの まえに かけつけて みせる」
と ばかりに、はしる けいこを するやら、はやおきの けいこを するやらで、
おしやうがつが くるのを まちかまえました。

ところが、その なかに、かみさまの ところへ いく ひを
わすれて しまった うっかりものが いました。それは ねこでした。





ね

こは あわてて、ねずみに ききに いきました。

「ねずみどん、かみさまの ところへ いくのは、いつだったかいね」

「おや、わすれるなんて ねこどんらしくも ない。

それはねえ、しょうがつの ふつかの あさだ。」

ねずみは わざと いちにち ちがえて おしえて やりました。



ねこは、そんな こと しりませんから、
「いやあ、ありがとう ありがとう、たすかった」
と、よろこんで かえって いきました。



す

て、いよいよ、おしょうがつです。

ぴりぴり ひえこむ がんじつの あさ。

うしは、あるくのが おそいので、ほかの どうぶつたちが
ねむって いる まに そつと でかけました。

それを みた ねずみは、

「おつと、うしどんに ききを こされて なるものか」

と、ちよんと とびはね、うしの せなかに のっかりました。





ち

っぽけな ねずみ いっぴき、せなかに くつついたって、

うしは きがつきも しません。のっそり のっそり あるいて あるいて、

ようやく かみさまの ごてんに たどりつきました。

「もう これで、おらが いちばんのりと きまったわい」

うしは あんしんして、ごてんの もんが あくのを まちました。







や

がて、ひがしの やまから がんじつの おひさまが かおを だし、
ごてんの、もんが あきました。

その とたん、ねずみが うしの せなかから ちよろつと とびおりました。

「うしどん ごめんよ。ひとあし おさきに」

「ややっ、ねずみどん。おい、ひどいじゃ ないか」

うしは かんかんになっ おこりましたが、もう、まにあいませんでした。

